

# 登山関連ニュース報告（2026年3月21日）

過去24時間以内の登山活動に影響を及ぼす情報を、重要度の高い順に整理しました。入山規制や危険箇所情報を最優先で扱っています。

## 登山情報サマリー

重要度	項目	内容・影響
特高	【遭難】北海道・雷電山暴風雪による遭難	3月21日未明、雷電山（1211m）6合目付近で男女3人が暴風雪により行動不能となり救助要請。テントが破壊されるほどの猛烈な風が吹いており、北海道内では引き続き暴風雪への厳重な警戒が必要です。
高	【火山】噴火警戒レベルの継続（全国）	3月20日16時、気象庁より各火山の状況解説情報が発表。桜島（レベル3：入山規制）、**雌阿寒岳・岩手山・浅間山・草津白根山・霧島山（新燃岳）・諏訪之瀬島（レベル2：火口周辺規制）**が継続中。火口周辺への立ち入りは厳禁です。
高	【クマ】三重県・藤原岳登山道での目撃	3月21日午後、藤原岳登山道で下山中の登山者が体長約1mのクマを目撃。爆竹にも反応せず、山岳警備隊が救助に出動する事案が発生しました。鈴鹿山脈周辺ではクマの活動が活発化しており、十分な警戒が必要です。
中	【気象】北海道・東北での雪・吹雪	3月21日は移動性高気圧に覆われ西・東日本は晴天ですが、北海道や東北の一部では朝まで雪や吹雪が続いています。積雪のある地域では雪崩や視界不良に注意してください。
中	【規制】神奈川県・鷹取山ハイキングコース	逗子市の鷹取山ハイキングコース（神武寺・鷹取山間）の一部で、落石の恐れによる通行止めが継続しています。事前に逗子市観光協会の最新情報を確認してください。
低	【行事】那須雪崩事故から9年の追悼式	3月21日、栃木県那須町での雪崩事故から9年を迎え、大田原高校で追悼式が行われました。春山の雪崩リスクを再認識し、安全意識を高める契機としてください。

## 登山者へのアドバイス

### 1 春山の気象急変に警戒:

低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となり、北海道の雷電山での遭難事案のように、標高が低くても猛烈な暴風雪に見舞われることがあります。平地が晴れていても、山上の予報（特に風速）を必ず確認し、装備が不十分な場合は迷わず中止・撤退を判断してください。

## 2 クマ対策の徹底:

冬眠明けのクマが活動を開始しています。藤原岳の事例のように、爆竹などの音に驚かない個体も存在します。単独行を避け、熊鈴やラジオで存在を知らせるだけでなく、万が一に備えて**熊撃退スプレー**を即座に使える状態で携帯することを強く推奨します。

## 3 火山情報の再確認:

現在、多くの火山でレベル2（火口周辺規制）が継続しています。登山道の規制ラインを遵守し、万が一の噴火に備えてヘルメットを携行し、シェルターの位置を確認しておくなど、火山登山特有の備えを怠らないでください。

## 4 雪崩リスクの継続:

気温の上昇に伴い、残雪期特有の全層雪崩や落石のリスクが高まっています。特に急斜面の下や沢筋を通る際は、周囲の状況に細心の注意を払ってください。

---

本情報は2026年3月21日時点の公開ニュースに基づいています。入山前には必ず現地の最新情報を確認してください。